

坂東市監査委員告示第1号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第4項の規定に基づき、
監査を執行したので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

令和3年4月13日

坂東市監査委員	飯田	修
同	櫻井	広美

令和 2 年 度

定 期 監 査 結 果 報 告 書

坂 東 市 監 査 委 員

令和2年度定期監査結果総括

1 監査の対象・期日等

監 査 対 象		実施期日	監査執行者	
総 務 部	総 務 課	10月6日	飯 田 修	風見 好文
	管 財 課	8月6日	飯 田 修	風見 好文
	交 通 防 災 課	7月16日	飯 田 修	風見 好文
	収 納 課	7月16日	飯 田 修	風見 好文
企 画 部	市 民 協 働 課	11月12日	飯 田 修	風見 好文
	企 画 課	10月29日	飯 田 修	風見 好文
	特 定 事 業 推 進 課	2月9日	飯 田 修	風見 好文
市民生活部	市 民 課	8月6日	飯 田 修	風見 好文
	保 険 年 金 課	12月25日	飯 田 修	風見 好文
	生 活 環 境 課	10月15日	飯 田 修	風見 好文
保健福祉部	社 会 福 祉 課	7月16日	飯 田 修	風見 好文
	こ ど も 課 (認定こども園含む)	8月6日	飯 田 修	風見 好文
	介 護 福 祉 課	11月12日	飯 田 修	風見 好文
	健 康 づ くり 推 進 課	11月26日	飯 田 修	風見 好文
産業経済部	農 業 政 策 課	10月15日	飯 田 修	風見 好文
	商 工 観 光 課	2月9日	飯 田 修	風見 好文
都市建設部	道 路 管 理 課	11月26日	飯 田 修	風見 好文
	道 路 建 設 課	1月28日	飯 田 修	風見 好文
	都 市 整 備 課	2月26日	飯 田 修	風見 好文
上下水道部	水 道 課	6月29日	飯 田 修	風見 好文
	下 水 道 課	11月12日	飯 田 修	風見 好文
教育委員会	学 校 教 育 課 (給食センター含まず)	8月27日	飯 田 修	風見 好文
	生 涯 学 習 課 (岩井・猿島公民館含む)	10月15日	飯 田 修	風見 好文
	ス ポ ー ツ 振 興 課	2月9日	飯 田 修	風見 好文
	指 導 課	10月6日	飯 田 修	風見 好文
	図 書 館	10月15日		
	資 料 館	10月15日	飯 田 修	風見 好文
学 校 等	飯 島 小 学 校 岩 井 第 一 小 学 校 生 子 菅 小 学 校 逆 井 山 小 学 校 岩 井 中 学 校 猿 島 中 学 校	5月15日から 7月31日まで	事務局で監査資料・諸帳簿 のみの監査を実施	

2 監査の場所

坂東市役所会議室

3 監査の方法

令和2年度監査等実施計画及び実施要領に基づき、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が、適正かつ効率的に行われているかについて監査を執行した。

自治体の監査に関しては、近年「内部統制」の整備・運用の重要性が叫ばれている状況にある。このため、昨年度に引き続き本年度も財務監査以前の問題として、公文書の取扱いという観点を含めての監査とした。

執行に当たっては、事前に監査対象課等から定期監査資料及び関係書類・諸帳簿類の提出を求め、補助職員をもって予備調査を実施させた。

なお、時間外勤務状況と休暇取得状況及び補助金交付事務については、前年度分を監査対象とした。

本監査においては、担当課長等の出席を求め、資料に基づき事務事業の執行状況及び予算執行状況についての説明を受け、これに対する質疑を行うことで監査の執行とした。監査の結果、指摘・意見等があるものについては通知し、改善・是正を求めた。本監査時の説明については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3密を回避するため重点事業等のみ説明を求め、監査時間を短縮して実施した。

また、小中学校の一部にあっては、補助職員に監査資料・諸帳簿等の監査を実施させた。

4 監査結果の概要

財務に関する事務の執行については、依然として帳票類の一部に事務処理上の軽微な誤りは散見されるが、指摘又は指導すべき事項等の件数は年々減少し、おおむね適正であると認められた。

公文書の取扱いでは、昨年度と同様、申請書等の受理文書に受付印の押印がないものなど、文書管理規程に沿った事務処理ができていないものが多数見受けられた。

契約事務では、昨年度同様、随意契約理由の適用条項誤り等、書類が不十分であるものが散見されたが、契約事務チェックリストの作成を徹底することにより、書類作成の不足等は以前より少なくなり改善されているものと思われる。今後も、市契約規則及び事務処理説明会資料等に基づき正確に処理するとともに、書類に不備がないかなど、複数人でのチェックをお願いしたい。

補助金等交付事務では、補助金交付団体からの交付申請書・実績報告書を受理する際に、市補助金等交付要綱に沿って内容等をよく精査し、団体への補助金の趣旨説明と書類不備への指導をする必要がある。補助金の原資は税金であることを再認識し、支出の根拠や金額についても、より公平で透明性の高いものにするために書類を整備され、健全な補助事業に当たられたい。

時間外勤務と休暇取得状況においては、一部で改善が見られた課もあったが、依然として時間外勤務が多くなる傾向が見られた。休暇の取得についても同様で、改善が見られた課はあったが、夏季休暇をすべて取得できないなど、部署によって状況にばらつきが見られた。管理職には再度一部の特定の職員に過度な負担がかからないよう、所属部署内の業務配分には細心の注意を払い、効率的な業務遂行に心掛けられたい。

全体を通し、多くの課では前年度の指摘事項等を共有し改善が図られていたが、残念ながらそうでない課も見られ、昨年度と同様の指摘を受ける課もあった。業務量の増加や職員不足などの負の要因も多いと思われるが、管理職のリーダーシップと人員個々の創意工夫において改善されたい。

以上、監査結果を報告する。

本市は、合併後16年が経過し、新庁舎開庁後5年が経過した。この間、圏央道坂東インターチェンジの開通・開設があり、さらに坂東インター工業団地の事業が進捗し、着々と企業も操業を開始している。また、小中学校へのエアコン整備や、幼保無料化、放課後児童クラブの充実などを図り、ばんどう未来ビジョンに掲げる施策を推進してきた。

国内では、新型コロナウイルス感染症のニュースが席卷しており、同時に日本経済も観光客のインバウンド需要の減少や感染拡大に伴う外出自

粛の影響で先行きが全く見えない状況下にある。

このような厳しい状況の中、市財政は地方交付税の減額等、さらに厳しい状況が続くと予想されるが、引き続き自主財源の確保を念頭に、費用対効果に留意しながら、適切な予算執行を心掛け、法令等に基づく事務処理の正確性・効率性の確保を図られるよう要望するものである。